

JAM熟練技能継承事業ニュース

発行：2013年5月22日
JAM熟練技能継承推進室

各地で今年度の技能指導がスタート

～日本ノズル精機(株)では技能検定「NC旋盤」への取り組み～

JAM熟練技能継承事業による平成25年度の技能検定試験受検に向けた技能指導が、埼玉・岐阜・大阪の各地でスタートした。

今年度の技能指導が開始したのは5月1日からで、5月中の各地での指導日数は、埼玉が60日、岐阜が18日、大阪では9日であり、埼玉のスタートダッシュが際立っている。

埼玉県久喜市の日本ノズル精機株式会社（JAM加盟組合企業）は、毎年多くの社員の挑戦意欲を高めて技能検定を受検させているが、今年度はNC旋盤2級に21歳と25歳の社員2名がチャレンジする。

指導するのは今年度から新たにお問い合わせしている熟練技能者で、機械加工全般にわたる豊富な経験と抜群の指導力を兼ね備えている。

同社では会社をあげて技能者育成に熱心に取り組んでおり、今回NC旋盤にチャレンジする社員の上長は「本人が“会社で活かされる”と実感できることが重要」と、会社としてバックアップする重要性を力説している。

指導を受ける社員は、NC旋盤の指導を受けて「加工の仕方でかかる時間が違うので、工夫のし甲斐があって実力アップにつながる」と、技能検定へのチャレンジを通じた技能の向上について確かな感触を掴みつつある様子で、今後の実力アップが期待される。



NC旋盤の技能検定試験では、大半の時間をプログラム入力に費やすため、そのスピードが重要となる



指導をする熟練技能者の安保氏(左)は機械加工の超ベテランで、丁寧な指導で受講者の意欲も引き出す



NC旋盤の工具の取り付けも検定試験の重要なポイントで、複数の加工で相互の干渉が無いようセットする